

### 3. 調査内容

施工前のコウモリ類の調査は、予備調査段階とコウモリ相調査段階、生態調査段階の三つの段階に分けられる(表Ⅱ.3.1)。予備調査段階では、文献調査や聞き取り調査、現地概査を実施し、後の現地調査の実施を判断するための情報収集に力点をおく。コウモリ相調査段階では調査地に生息するコウモリ種を把握し、希少コウモリ類の生息確認を目的とする。生態調査段階では調査地における希少コウモリ類の昼間のねぐらの利用状況および環境、夜間の休息場所、採餌場所、ねぐらから採餌場所までの移動経路、餌となる昆虫の状況などの把握を目的とする。図Ⅱ.3.1に施工前における予備調査段階から生態調査段階までの進め方を、また各調査段階における基準となる工程表を表Ⅱ.3.2に示した。実際の調査業務では個々の事業の地域性や性格によって調査期間、時期、回数、項目などの設定が変わってくる。したがって一律に、調査の必要年数は決められない。事業ごとにコウモリ類の生態に詳しい専門家・研究者等の意見を参考に調査を進めていくことが重要である。図Ⅱ.3.1(調査の進め方)や表Ⅱ.3.2(工程表)で示した必要年数はあくまで目安であり、各地の事例や情報を積み重ねて議論していく必要がある。

表Ⅱ.3.1 施工前の各調査段階における調査項目と目的

段階	調査項目	目的
予備調査段階	①文献調査	コウモリ類の生息状況についての既往情報を整理する。予備的に現地概査(調査項目③、④)を実施し、コウモリ相調査段階に進むかの判断基準を得るための情報を収集する。
	②聞き取り調査	
	③ねぐら探索調査	
	④バットディテクター(以下 B.D.)による入感状況調査	
コウモリ相調査段階	⑤昼間のねぐら調査	調査地に生息するコウモリ類の種を把握し、希少コウモリ類の生息を確認する
	⑥ナイトルースト調査	
	⑦かすみ網等による捕獲調査	
生態調査段階	⑧重要な位置づけにあるねぐらの利用状況調査	調査地における希少コウモリ類のねぐらの利用状況、移動状況およびねぐら内環境、夜間の休息場所、採餌場所、ねぐらから採餌場所までの移動経路、餌となる昆虫の状況などを把握する。
	⑨標識装着調査(標識-再捕獲調査)	
	⑩ねぐら内環境調査	
	⑪飛行通路調査	
	⑫餌資源量調査	
	⑬行動圏調査(ラジオテレメリー法)	

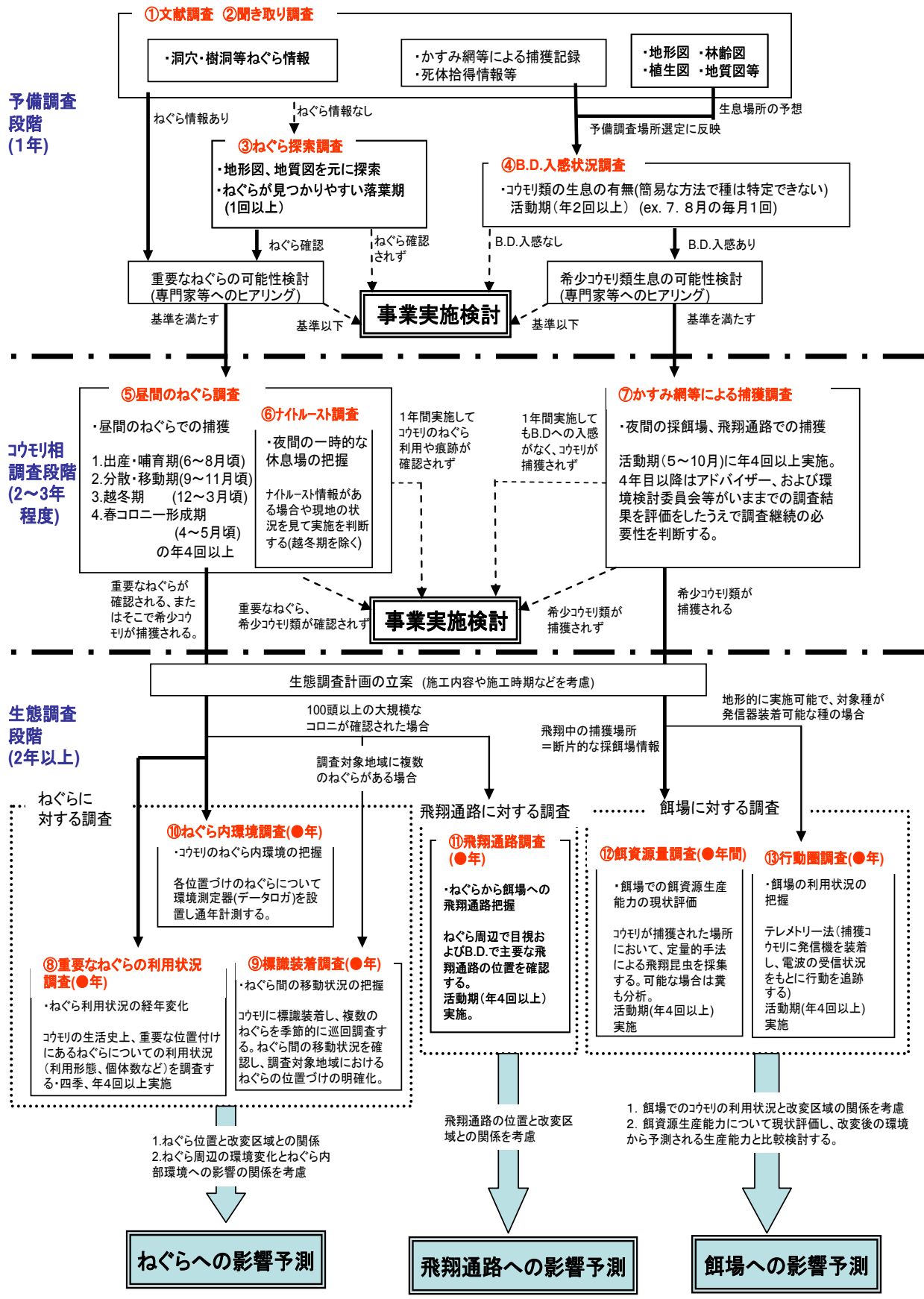


図 II. 3.1 希少コウモリ類および重要ねぐらを対象とした調査の進め方 (施工前の予備調査～生態調査段階)

表 II.3.2 各調査段階における基準となる工程表

調査段階	年月	予備調査段階												コウモリ相調査段階												生態調査段階											
		平成〇年度(1年程度)												平成〇～〇年度(2～3年程度)												平成〇～〇年度(2年以上)											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考											
予備調査段階	① 文献調査																																				
	② 聞き取り調査																																				
	③ ねぐら探索調査																																				
	④ B.D.による予備調査																																				
コウモリ相調査段階	⑤ 屋間のねぐら調査																																				
	⑥ ナイトリスト調査																																				
	⑦ かすみ網等による捕獲調査																																				
生態調査段階	⑧ 重要な位置づけにあるねぐらの利用状況調査																																				
	⑨ 標識装着調査(標識-再捕獲法)																																				
	⑩ ねぐら内飛越調査																																				
	⑪ 飛翔通路調査																																				
	⑫ 餌資源量調査																																				
	⑬ 行動圏調査(ラジオテレメトリ法)																																				
その他	調査技術の進歩が速く、その新技術を採用することにより調査精度の向上が見込まれる場合は調査項目を追加する。																																				

— :調査の実施(南西諸島以外)  
 == :調査対象地域が南西諸島の場合の秋期・冬期の調査の実施

調査結果を反映、  
 次の段階へ行くか検討

調査結果を反映、  
 次の段階へ行くか検討

コウモリ相調査段階を経て、環境  
 検討委員会等で把握量が十分と認  
 められた場合、生態調査段階へ移  
 行する。

① 調査対象地域は、調査対象地域から、調査  
 開始の申請を提出し、調査開始の許可を得る。調査開始の許可を得た後、調査開始の準備を進める。  
 ② 予備調査段階、コウモリ相調査段階  
 を通じて、コウモリの生息記録、有力な  
 ねぐら情報、B.D.の入感などが全く無  
 く、かつ予備調査による捕獲量が少ない場合は、  
 それらの結果をもつて影響計画に移る。  
 ③ 南西諸島に生息する小廻りコウモリの場  
 合は冬期でも活動する種がいるため、冬  
 期の調査も計画に入れる。  
 ④ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ⑤ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ⑥ ナイトリスト調査  
 ⑦ かすみ網等による捕獲調査  
 ⑧ 重要な位置づけにあるねぐらの利用状況調  
 査  
 ⑨ 標識装着調査(標識-再捕獲法)  
 ⑩ ねぐら内飛越調査  
 ⑪ 飛翔通路調査  
 ⑫ 餌資源量調査  
 ⑬ 行動圏調査(ラジオテレメトリ法)  
 ⑭ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ⑮ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ⑯ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ⑰ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ⑱ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ⑲ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ⑳ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉑ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉒ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉓ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉔ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉕ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉖ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉗ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉘ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉙ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉚ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉛ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉜ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉝ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉞ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㉟ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊱ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊲ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊳ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊴ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊵ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊶ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊷ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊸ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊹ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊺ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊻ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊼ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊽ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊾ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討  
 ㊿ 調査結果を反映、次の段階へ行くか検討